



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

FAO (国際連合食糧農業機関) 日本事務所
2010年10月19日

LOJAPR10/29-No. 178

プレスリリース

CFSが価格の不安定性と飢餓に対する行動を要請する 飢餓に対する闘いの国際的努力の改善

2010年10月19日、ローマ-世界食料安全保障委員会(CFS)は、土地所有や国際農業投資、食料価格の不安定性、長引く危機における食料安全保障への取組みなど食料安全保障と栄養に関する主要な問題に関する行動を要請した。

ローマで5日間開催されたハイレベル政府間機関の会合は、この組織を農業と食料安全保障に関する世界的ガバナンスの礎石にすることを目的とした改革後初めての会合である。

委員会における審議とそこで下された決定は、増大する食料価格の不安定性と受け入れがたい高水準の飢餓と栄養不足を背景に、飢餓に対してより戦略的なアプローチが必要であることが強調されたことを受けている。

「土地争奪」問題に対する行動

いわゆる「土地争奪」と呼ばれるものも含めた国際農業投資について、19日発表された報告書によれば、委員会は「引き続き国際的な責任ある土地保有と他の天然資源のガバナンス自主ガイドラインの開発を奨励する」としている。委員会は、ハイレベル専門家のパネルに大規模プランテーションと小規模農業のそれぞれの役割についての研究を要請した。

価格の不安定性と気候変動

CFSは、ハイレベル専門家パネルに対し「市場歪曲的慣行や金融市場へのリンクを含む市場食料価格の不安定性の原因と結果、農業における過剰な価格不安定性に関連するリスクを管理するための適切で明確な政策、行動および手段と制度」に関してよく検討し、提案をするよう要請した。

パネルからの提案は、脆弱な国と国民が、不安定性が市場崩壊の原因となったときにいかに食料へのアクセスを確保できるか、また社会及び生産の安全網プログラムにより不安定性を軽減する方法を検討する。

気候変動に関しては、CFSでは気候変動が食料安全保障と栄養に与える影響に関する既存の評価とイニシアチブの見直しに同意した。研究の焦点は、最も影響を受けた脆弱な地域と人々で、適応緩和政策と行動の課題と機会を含む。

長引く危機と食料安全保障

委員会では、紛争や自然災害による長引く危機に苦しめられる各国における食料安全保障に取り組むための対策の講じ方を検討した。CFSは、これら各国における緊急対応は長期的支援と良く統合されることが望ましいと提案した。追って、委員会では引き続き危機的状況にある各国のための行動計画につながるハイレベル専門家会合を招聘することが検討される。

また、CFSは、飢餓に対する闘いの国際的努力の調整の改善を支援するため、今後2年間に食料安全保障と栄養に関する世界的戦略枠組みを開発するための協議プロセスを始めた。食料不安の影響を最も受けた国と関係者からの情報が重要視される。

より包括的

ノエル・ド・ルナCFS議長は、CFSの会合は議論に多くの主要関係者が参加したことによって改革の精神が完全に実現されたことを示したと述べている。

「非政府組織団体(NGO)と市民社会団体(CSO)が制度の中で果たす役割があると加盟国政府が認めたことは非常に大切なことである。CSOは飢餓に苦しみ貧困に暮らす人々と直接連絡をとっており、この現実を議論に反映させることができる」と彼は加えて述べた。

コスタス・スタモリス委員長は、「前向きで建設的な雰囲気の結果を達成するために不可欠であった。加盟国政府と全ての関係者が主要な食料安全保障と栄養の政策課題についての合意を得るための真の対話を行った。」と述べた。

CFS諮問グループのメンバーであるオックスファムのクリス・リーサーは、「CSOが対等な立場で各国政府や他の関係者と議論を行い、結果に影響を及ぼすことができるのは斬新なことである」と述べた。

英文URL:<http://www.fao.org/news/story/en/item/46665/icode/>